

## 2018 年度事業報告

### 1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

#### (1) 研究発表会

##### 1) 本部: 第 70 回大会を開催

5月25～27日、日本女子大学、参加者 767 名 研究発表: 口頭発表 134 題、ポスター発表 176 題

##### 2) 支部: 研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	9月8日
関東支部	2月27日
中部支部	9月1日、2月16日
関西支部	11月24日
中国・四国支部	9月30日
九州支部	10月6日

##### 3) 部会: 研究発表会を開催

家政学原論部会	8月21日
生活経営学部会	8月30日
家族関係学部会	10月14日
食文化研究部会	11月25日
服飾史・服飾美学部会	10月27日、3月2日

#### (2) セミナー

##### 1) 本部: 第 3 回家政学夏季セミナーを開催

9月6・7日、東京家政大学、参加者 87 名 公開シンポジウム、エクスカージョン参加者 82 名

##### 2) 部会:

家政学原論部会	8月21日
被服衛生学部会	8月30・31日
被服整理学部会	8月29日
家政教育部会	9月5日、3月25日
被服心理学部会	8月27・28日、2月23日
被服材料学部会	8月26・27日
色彩・意匠学部会	8月21・22日

#### (3) 公開講演会・シンポジウム等

##### 1) 本部: 第 70 回大会時に開催(5月26・27日)

記念公開講演会、シンポジウム、教育講演、国際交流セミナー、家庭生活アドバイザーシンポジウム、東日本大震災生活研究プロジェクト活動報告、ランチョンセミナー

##### 2) 支部: 公開講演会を開催

東北・北海道支部	9月8日
関東支部	4月21日、8月22日、10月20日
中部支部	9月1日
関西支部	4月21日、11月24日
中国・四国支部	9月29日
九州支部	10月6日

##### 3) 部会: 公開講演会を開催

生活経営学部会	8月31日
家族関係学部会	10月13日
食文化研究部会	11月25日
被服衛生学部会	3月19日
色彩・意匠学部会	2月25日
服飾史・服飾美学部会	10月27日
住居学部会	5月27日

##### 部会企画を開催

被服整理学部会	5月26・27日
食品組織部会	5月26日

##### 4) 若手の会: 第 70 回大会時にシンポジウム(5月27日)を開催

### 2. 学会誌・その他の図書の刊行

#### (1) 本部

1) 学会誌: 「日本家政学会誌」69 巻 4 号～12 号及び 70 巻 1 号～3 号(12 回)を各 3,000 部発行し、J-STAGE で公

開した。  
69 卷 5 号は日本家政学会 70 周年記念特集号とした。

【掲載された論文の種類・部門別編数内訳及び総ページ数】

巻		第69巻										第70巻			掲載された論文数合計
号		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
種別	報文	4	0	1	1	1	1	3	0	2	1	1	2	17	
	ノート	1	0	0	2	1	2	0	1	1	0	1	1	10	
	資料	0	0	3	2	1	0	0	2	1	3	2	1	15	
部門別編数	原論・経営									1				1	
	児童・家族			1	1		1			2		1		6	
	食物	2		1	3	2	1			1	2	2	2	18	
	被服	2				1		2	1				1	7	
	住居			2	1									3	
	教育・その他	1							2		2	1	1	7	
合計		5	0	4	5	3	3	3	3	4	4	4	4	42	
ページ数		52	0	44	51	24	25	25	29	41	41	40	47	419	

69-5は70周年記念特集号

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少 (編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
平成29年度	1	11	28	17	8	10	2	77
平成30年度	8	10	29	11	2	9	0	69
増減	7	▲ 1	1	▲ 6	▲ 6	▲ 1	▲ 2	▲ 8

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
平成30年度	29	14	13	13	69

2) 大会要旨集: 第70回大会研究発表要旨集、5月に900部発行、J-STAGEで公開。

3) セミナー要旨集: 第3回家政学夏季セミナー講演要旨集、9月に150部発行。

(2) 支部: 以下の要旨集等を刊行した。

東北・北海道支部	「平成30年度第62回研究発表会要旨集」
関東支部	「第21回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」 「第4回統計講習会講演要旨集」
中部支部	「第63回(平成30年度)大会要旨集」 「第18回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「平成30年度研究発表会要旨集」
中国・四国支部	「第65回(2018)研究発表会・研究発表要旨集」
九州支部	「第64回(2018年度)研究発表要旨集」

(3) 部会: 以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	部会設立50周年事業として『やさしい家政学原論』刊行 「家政学原論研究」(No.52; J-STAGE上に公開) 「家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」
家族関係学部会	「家族関係学」(機関誌発行とJ-STAGE公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」 「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」
被服衛生学部会	「被服衛生学」 「被服衛生学セミナー要旨集」 「被服衛生学部会公開講座要旨集」
被服整理学部会	「被服整理学夏季セミナー要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会夏季セミナー要旨集」「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会夏季公開セミナー要旨集」「色彩・意匠学部会春季公開セミナー要旨集」 「色彩・意匠学部会40周年記念誌」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」「家政教育部会第1回セミナー要旨集」

### 3. 研究及び調査の実施

(1) 本部:東日本大震災生活研究プロジェクトでは、日本家政学会東日本大震災生活研究プロジェクト石巻支部」の設置をおこない、石巻支部長に日本家政学会東日本大震災生活研究プロジェクトの坂田氏を任命し活動の活発化をはかった。

食分野の活動として地域の食材・伝統食の継続・継承の一環として石巻の食材・伝統食について聴き取りをおこない、前年度出版し、今年度も継続して出版のための作業を行っている。

(2) 支部:中部支部若手の会で勉強会、講習会・交流会を実施した。

(3) 部会:研究会、調査等を実施

家政学原論部会	食文化研究部会	被服材料学部会	被服整理学部会	被服構成学部会
被服衛生学部会	色彩・意匠学部会	服飾史・服飾美学部会	家政教育部会	

### 4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 本部

1) 平成 30 年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。

学会賞:坂井妙子氏、藤平真紀子氏

奨励賞:土岐圭佑氏

功労賞:猪又美栄子氏、大越ひろ氏

2) 活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。

支部:関東支部、中部支部、関西支部、九州支部

部会:家政学原論部会、生活経営学部会、家族関係学部会、児童学部会、被服材料学部会、被服整理学部会、被服構成学部会、被服衛生学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会、服飾史・服飾美学部会

若手の会

3) 支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。

関東支部、関西支部、中国・四国支部

4) 第 70 回大会活性化提案企画として以下の部会および若手の会に助成を行った。

部会:家政学原論部会、児童学部会、服飾史・服飾美学部会

5) 第 70 回大会において小野寺美和氏に「若手研究者ポスター賞」を授与した。

(2) 支部

1) 東北・北海道支部:

①若手研究者 3 名へ研究助成金を支給した。

②研究発表会において、院生・学生発表者 4 名へ発表奨励賞を授与した。

2) 関東支部:

①家政学関連卒業論文・修士論文発表会において、卒論 5 題と修論 3 題に支部長賞を授与した。

3) 中部支部:

①若手の会の活動に奨励金を支給した。

②支部大会発表者 1 名に中部支部大会発表奨励賞を授与した。

③家政学関連院生・学生研究発表会発表者 2 名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。

4) 関西支部:

①若手研究者 4 名に若手優秀発表賞を授与した。

5) 中国・四国支部:

①若手研究者 1 名に支部賞を授与した。

(3) 部会

1) 家政学原論部会:各地区会に研究活動費を補助した。

2) 生活経営学部会:各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。

3) 食文化研究部会:石川松太郎食文化研究奨励賞を 1 名に授与した。

4) 被服構成学部会:第 18 回全国中学生創造ものづくり教育フェアで被服構成学部会賞及び奨励賞を授与した。

### 5. 家庭生活アドバイザー資格認定事業

①資格取得のための第 2 回研修会と資格試験を実施した。

②今後の資格のあり方について継続して検討した。

③地方自治体や団体との連携のあり方を検討した。

### 6. 内外の関連学協会等との連携及び協力

(1) 本部

1) 国際交流委員会:国際家政学会(IFHE)・アジア地区家政学会(ARAHE)の組織や大会に関する広報、IFHE と

の連携活動(年次理事会への国際担当特別委員の派遣、国際家政学会日本連絡会の活動、IFHE 会費代行サービスの実施)、ARAHE との連携活動、学会誌に国際交流委員会特別企画「ARAHE2017 講演概要」掲載等の活動を行った。

- 2) 関連学会との交流: 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進した。
- 3) 学協会関係: (一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、学会誌の交換、情報の交換等を行った。
- 4) 公益信託家政学研究助成基金: 学会員 1 名に対し研究助成された。

(2) 部会: 児童学部会 ORIGAMIワークショップを開催し、日本文化の紹介及び会員交流を行った。

## 7. その他の目的を達成するために必要な事業

- (1) 総務委員会: 一般社団法人移行に伴い諸規程等の全面見直しを行ってきたが、2018 年度も引き続き「規程等集」の整備を行った。
- (2) 情報管理委員会: 学会の情報管理を一元化するために、ホームページ委員会から情報管理委員会に名称変更し、ホームページの運営だけではなくメルマガ配信も所管となった。また、規程改正により、著作権規程、ロゴマーク使用規程については、編集委員会から情報管理委員会に移行した。①掲載依頼記事の迅速なアップロード、メルマガの配信を行った。②ロゴマークの商標権更新手続きを行った。③学会ホームページにプライバシーポリシーを掲載した。④次年度(第 71 回)大会の研究発表要旨集の J-STAGE 掲載方法を検討した。
- (3) 編集委員会: ①2019 年 70 巻 1 号より、表紙デザインをリニューアルした。②編集委員会に属する規程等の見直しを行った。③査読の迅速化に努めた。④学会誌論文と年次大会の研究発表要旨を、J-STAGE で公開した。
- (4) 刊行委員会: 家族関係学部会を中心として著書『現代家族を読み解く 12 章』を刊行した。

## 8. 本部、支部及び部会の総会等の開催

### (1) 総会

1) 本部: 平成 30 年度代議員総会、5 月 26 日、日本女子大学八十年館 851 教室、出席者 63 名(代議員 47 名(内本人出席 41 名、書面出席 6 名)、理事他 16 名)

### 2) 支部:

通常総会	東北・北海道支部 関西支部	関東支部 中国・四国支部	中部支部 九州支部
臨時総会	東北・北海道支部	関東支部	関西支部

### 3) 部会:

通常総会	家政学原論部会 食品組織部会 被服構成学部会 服飾史・服飾美学部会	生活経営学部会 食文化研究部会 被服衛生学部会 家政教育部会	家族関係学部会 被服材料学部会 被服心理学部会	児童学部会 被服整理学部会 色彩・意匠学部会
臨時総会	被服整理学部会	被服構成学部会	被服衛生学部会	

### (2) 理事会、役員会等

1) 本部: 理事会 4 回、臨時理事会 2 回、役員連絡会 3 回、全体部会長会 1 回

### 2) 支部:

東北・北海道支部	支部役員会 4 回
関東支部	支部役員会 5 回
中部支部	支部役員会 3 回、支部役員連絡会 2 回
関西支部	6 回(うち 2 回はメール会議)
中国・四国支部	支部常任幹事会 3 回、支部機関幹事会 1 回
九州支部	支部役員会 1 回、支部臨時役員会 2 回

### 3) 部会:

家政学原論部会	常任委員会 6 回、新旧役員会 1 回
生活経営学部会	常任委員会 5 回、部会役員会 1 回
家族関係学部会	部会役員会 2 回
児童学部会	2 回
食品組織部会	1 回
食文化研究部会	6 回
被服材料学部会	部会幹事会 2 回
被服整理学部会	1 回
被服構成学部会	3 回
被服衛生学部会	2 回
被服心理学部会	2 回
色彩・意匠学部会	3 回
服飾史・服飾美学部会	3 回

住居学部会	1回
家政教育部会	3回

4) 若手の会:幹事会 1回

(3) 各種委員会

1) 本部:

財務委員会	1回
企画・広報委員会	5回
国際交流委員会	3回
編集委員会	4回
研究発表審査委員会	1回
刊行委員会	1回
学会賞選考委員会	2回
功労賞推薦委員会	1回
第2回家政学夏季セミナー実行委員会	4回
第3回家政学夏季セミナー実行委員会	3回
家庭生活アドバイザー資格検討委員会	5回
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	5回

2) 支部:

関東支部	若手の会幹事会 5回
中部支部	若手の会役員会 5回、中部支部奨励賞選考委員会 3回、
関西支部	
中国・四国支部	支部賞選考委員会 2回
九州支部	支部賞選考委員会 1回

3) 部会:

家政学原論部会	編集委員会、選挙管理委員会、50周年企画委員会等 10回
家族関係学部会	編集委員会他 10回
児童学部会	編集委員会 5回
食品組織部会	ポスター展示実行委員会他 1回
食文化研究部会	会誌編集委員会他 11回、選挙管理委員会 3回
被服材料学部会	夏季セミナー実行委員会他 5回
被服整理学部会	夏季セミナー実行委員会 1回
被服衛生学部会	セミナー実行委員会 1回
被服心理学部会	セミナー実行委員会 2回
色彩・意匠学部会	セミナー実行委員会他 3回
服飾史・服飾美学部会	企画委員会他 3回
家政教育部会	セミナー実行委員会他 3回

9. 会員

会員の状況(2019年3月31日現在)

		正会員 (永年会員)		学生会員	海外会員	賛助会員	計	増減
支部	東北・北海道	200	(12)	4	—	—	204	▲7
	関東	952	(47)	81	—	—	1,033	3
	中部	250	(6)	14	—	—	264	▲16
	関西	463	(20)	41	—	—	504	▲7
	中国・四国	234	(10)	28	—	—	262	▲10
	九州	176	(4)	19	—	—	195	▲20
名誉会員		12	—	—	—	—	12	0
海外会員		—	—	—	14	—	14	5
賛助会員		—	—	—	—	34	34	▲1
会員種別合計		2,287	(99)	187	14	34	2,522	▲53
前年度との増減		▲33	1	▲24	5	▲1	▲53	

▲減少

10. 附属明細書に関する事項

2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。